

～ データ分析ツール ～

Linuxgate Ver.7

リンクスゲート

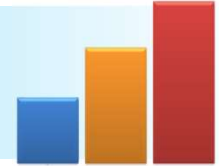
製品概要ご紹介資料

RIATEC



Linxgateのコンセプト

リンクスゲートって何？



大切なのは、「わかりやすい」こと。

「BI is SIMPLE.」

必要な機能を厳選し「わかりやすい」を追求した分析ツール。
システムに蓄積された情報から、意思決定の判断材料をすぐに導き出せる。

ビジネス分析をもっとシンプルに。
だから選ばれるリンクスゲート。



BIツールで大切な「わかりやすさ」を追求

お使いのデータをわかりやすく分析するために、必要な機能を厳選！ **シンプルで使いやすい操作性**を実現しました。
BIツールは「難しい」という観念を払拭します。



データ分析のプロセスを簡略化

毎回の会議資料の作成は、
“Linxgate”だけでOK！
一元管理でデータ拡散を防止し、
データベース直結だから、
常に**「活きたデータ」**を活用
できます。

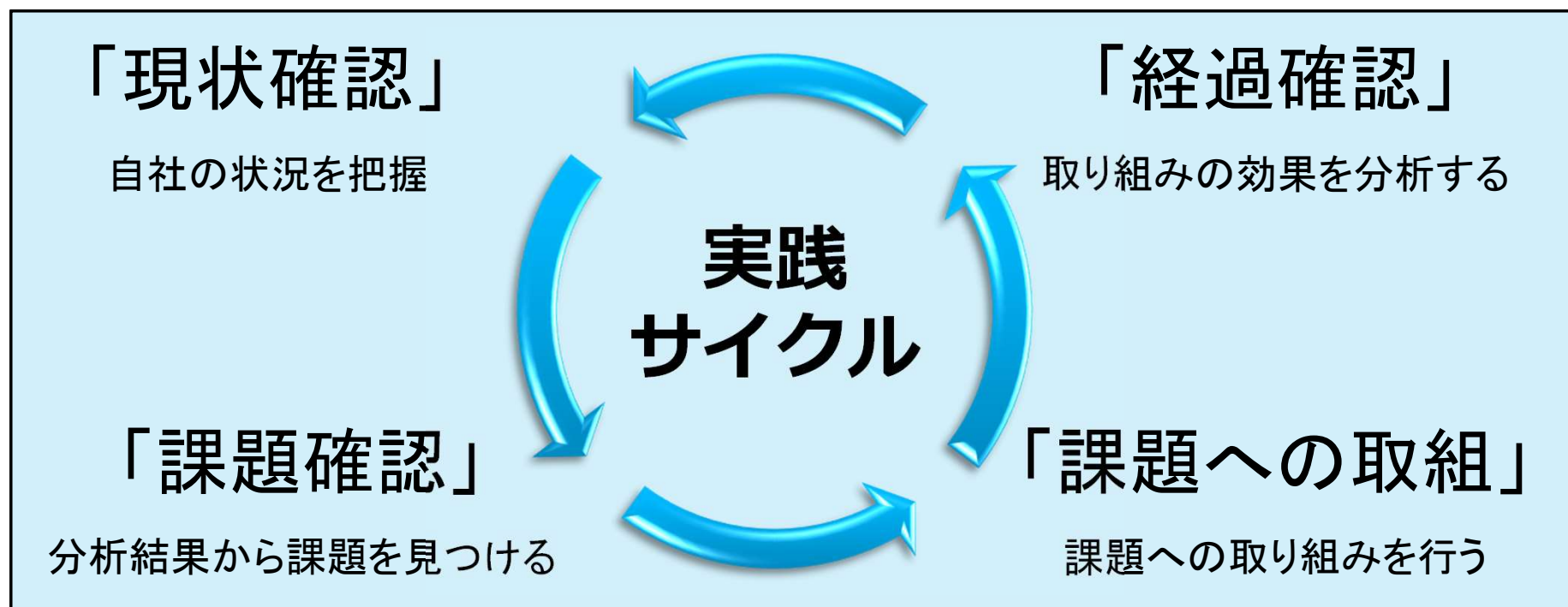


何故データ分析が必要か

会社の業績を伸ばすためにはどうすればいいの？



業績を伸ばすには、
「収入」を増やし、「支出」を減らす ことが鍵になります。



業績を伸ばすには、「現状」と「経過」を確認する「手段」が必要。

つまりデータ分析が必要です。

企業におけるデータ分析の基本

分析で成果を出すために押さえておきたい基本とは？



- I 分析した情報を元に、販売戦略や戦術を立てて、実戦に活用する事が大切です。
なぜなら、分析資料を作成するだけでは結果が出せませんよね？
- II 必要なときにすぐに情報を入手できるツールを選びましょう。
なぜなら、分析資料の作成に時間を取られて、本来の業務ができなくなると困りますよね？
- III ツールを活用し、簡単に実施できることが大切です。
なぜなら、あまりにも難しいと続かないですよね？
- IV 業務に携わる社員全員がデータを活用できるようにしましょう。
なぜなら、現場を知っている人じゃないと、現場の“気づき”は生まれませんよね？

まずは4つの基本を押さえて、
Linxgateで出来ることから
始めてみましょう。



Linxgateの特徴

リンクスゲートが選ばれる4つの特徴



Point- 1 かんたん操作

インターフェースが直感的で分かりやすく、ほとんどがマウスだけで操作できます。データの読み込みなど面倒な作業は必要ありません。

Point- 2 実践しながら考えても 分析できる

まずは使ってみてください。
使っているうちに、現状→課題→経過と切り口を変えて見ていくことで、新しい発見、気づきが生まれます。

Point- 3 打合せや会議で、生きた 資料として使える

質問や指摘、原因追求に対して切り口や表現を即座に切り替え、その場で応えることができます。データベースと直接連携しているので、常に最新のデータを基にコミュニケーションを取ることが出来ます。

Point- 4 基幹システムと直接連携

SQL Server、Oracle、Excel、CSV、Access、DB2、MySQL、PostgreSQL、Symfoware、などのデータベースと直接連携！リアルタイムな情報を表示できます。

※基幹システムによっては接続できない場合がございます。

機能一覧

難しい機能は一切ありません。ほとんどがマウスだけで操作できます。

【基本機能】

- ・ドリルダウン
- ・一括実行
- ・タイマー実行

- ・範囲指定
- ・エクセルへの出力と印刷

- ・基幹システム連携
- ・観点、項目の変更、追加

【デザイン】

- ・グラフのみ表示
- ・明細のみ表示
- ・画面の数（1～5）

グラフエリア



- ・グラフの種類10種
- ・値の表示
- ・副軸の追加
- ・平面/立体
- ・ラベルの表示
- ・平均線
- ・累積構成比線

明細エリア

担当者名	売上額 (千円)	粗利額 (千円)	売上構成	粗利率	貢献度
後藤	9,402	3,505	37.9	37.3	14.13
川村	3,946	1,338	15.9	33.9	5.39
中川	3,412	1,134	13.7	33.2	4.57
矢島	1,696	620	6.8	36.6	2.50
澤村	1,611	567	6.5	35.2	2.29
野原	1,462	195	5.9	13.4	0.79
岡田	1,248	370	5.0	29.6	1.49
大下	1,110	208	4.5	18.7	0.84
桐原	927	206	3.7	22.2	0.83
	24,813	8,143	100.0	32.8	

- ・並べ替え
- ・絞り込み
- ・文字色
- ・背景色
- ・大きさ
- ・横位置
- ・書式

※機能の一部です。

連携イメージ

システムに蓄積された様々な情報と連携します。



お客様は普段通りに伝票入力



システムにデータが蓄積される



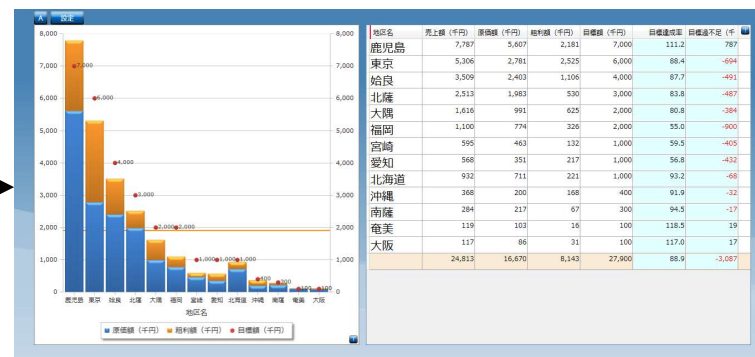
販売管理

売上/仕入

入金/支払

在庫…等

Linxgateはシステムのデータを参照し
必要な情報をリアルタイムに表示します。
蓄積された資産（データ）が、
グラフィカルに生まれ変わります。



活用例

①資料の作成時間を短縮したり、②情報の一元化で不整合を排除できます。

① 情報作成



いままで…

ある日、上司に呼び出された。

「資料を作りたいんだけど、データの集計作業が大変で…手伝ってこないか？」

毎度のことだが、手伝う側も大変だ。
イメージ通りの結果にならず作業の変更依頼があることもしばしば。
とにかく、集計作業にかかる負担を軽減したい…

Linxgateだったら、どうなる？

Linxgateには、マウス操作だけで集計の設定を行う画面があります。
「地区別の売上と粗利を集計する」イメージで手順を説明すると…

① 集約キー(観点)として「地区」を選択する。

地区	担当	商品
☒	☐	☐

② 集計項目(項目)として「売上」と「粗利」を選択する。

売上	原価	粗利
☒	☐	☒

③ 実行する。



これだけで、グラフまで一緒に完了です。

集計作業が楽々、作業効率は飛躍的に高まります！

すぐ出来る😊…だから、効率アップ♪



これからは♪

② 情報共有

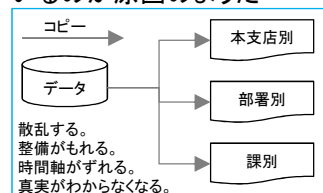


いままで…

前々から、上司は困っていた。

「社内資料の事なんだけど、また数字が合わないんだ。いつも言っているんだが…」

どうやら各自が必要なときにコピーした資料を使い続けているのが原因のようだ…



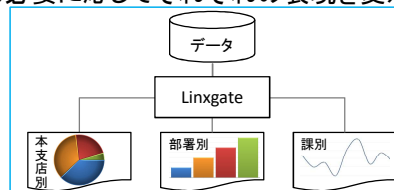
Linxgateだったら、どうなる？

Linxgateには、同じデータでも表現を様々に変えられる特長があります。
「元をたどれば同じデータである」イメージで手順を説明すると…

① Linxgateをデータに接続する。

② 同じデータから複数の窓口を作成する。

③ 必要に応じてそれぞれの表現を変える。



※表現は異なってもデータは一つになっています。

これなら、常に最新かつ同一のデータを参照できるようになり同じ情報を各種資料に反映する手間やミスがなくなります。

これで、各種資料の不整合が減ります。

実は、見る人の立場で見たい内容が違うだけなのです！

苦労が減る😊…だから、みんな喜ぶ♪



これからは♪

活用例

③様々な観点から分析を試行したり、④ダイナミックな会議を展開できます。

③

情報分析



いままで…

ある時、私は頭を抱えていた。

「君に任せたい仕事がある、
売上データの分析なんだ。
引き受けてくれないか？」

私は上司の期待に応えようと
この依頼を引き受けたが…

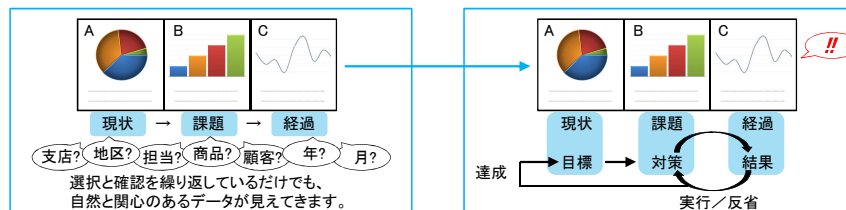
正直、どう分析したらいいか
分からず悩んでいた。

何か秘訣があればいいのに…

Linxgateだったら、どうなる？

Linxgateには、実践しながら考えても分析になるという良さがあります。
「画面を現状/課題/経過と捉える」イメージで手順を説明すると…

- ① 売上の現状(A)は？… 切り口を替えながら、現状を把握する。
- ② そして課題(B)は？… 切り口を替えながら、課題を見つける。
- ③ さらに経過(C)は？… 時間を切り口として、経過を確認する。



秘訣は、切り替えの速さを活かした「スピード」です。

実践しながら、分析を本格的にしていけばいいのです！

思考を整理☺…だから、発見がある♪



これからは♪

④

情報活用



いままで…

とある日の会議のことだった。

「資料を作成しましたので、
こちらをご覧ください。
〇〇が△△で、そして…」

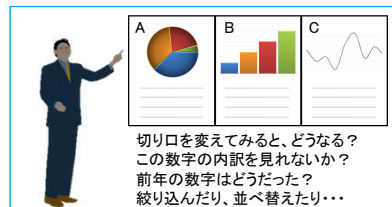
私の発表は予定通りに終わる
はずだったのだが、予想外の
質問や指摘に準備した資料が
対応しきれず、仕切り直しと
なってしまった。

準備不足もあるが予測不能な
場合もあるため、資料自体に
柔軟性があるといいのに…

Linxgateだったら、どうなる？

Linxgateには、製品自体が会議資料にもなるという特徴があります。
「会議資料に動きを持たせる」イメージで手順を説明すると…

- ① Linxgateをプロジェクターで投影する。
- ② 製品の画面そのものを資料として発表する。
- ③ 質問や指摘には、製品の機能を利用して応える。



※質問や指摘に応じて、切り口や
表現を変えることができます。

これにより、似たような資料を
いくつも準備する必要が減り、
後日に仕切り直しとなることも
減ります。

その場で、参加者の意見を反映できます。

画面そのものに、生きた資料としての価値があります！

意見が出る☺…だから、盛り上がる♪



これからは♪

よくあるご質問



Q: ユーザ数に制限はありますか？

A: Linxgateをご利用できるユーザは無制限に作成可能です。
ただし、Linxgateはログイン管理を同時接続数で制限しています。
同時接続のユーザ数をご購入いただいたライセンス数になります。

Q: 他の社員には見せたくない情報がある場合、制限できますか？

A: ユーザごとに実行の制限、データの出力を制限することが可能です。

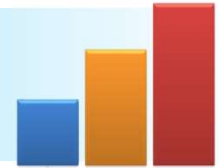
Q: 管理帳票と比べて何が違いますか？ 良い点は何ですか？

A: 帳票や照会は、固定形式での出力がほとんどです。
つまり、自分で切り口や項目を変えることができないという欠点があります。
一方、Linxgateは自分の見たい切り口や項目を柔軟に変えることができます。
更に、Linxgateはグラフ表示とドリルダウン機能が備わっております。

Q: 売上予測を見ることはできますか？

A: 過去の傾向を見ることで予測を立てることに役立ちます。
申し訳ありませんが、今のところ未来の「予測値」を表示する機能はございません。

動作環境



サーバ	OS	Windows Server 2008 以降
	CPU	ご使用のOSが推奨する環境以上
	メモリ	2GB以上（4GB以上推奨）
	ディスプレイ解像度	1024×768以上
	ハードディスク容量	3GB以上
クライアント	OS	Windows Vista 以降
	CPU	ご使用のOSが推奨する環境以上
	メモリ	1GB以上（2GB以上推奨）
	ディスプレイ解像度	1024×768以上
	ハードディスク容量	3GB以上

※32ビット(x86)/64ビット(x64)環境に対応しています。
Windows10に対応しています。
バーチャル環境に対応しています。

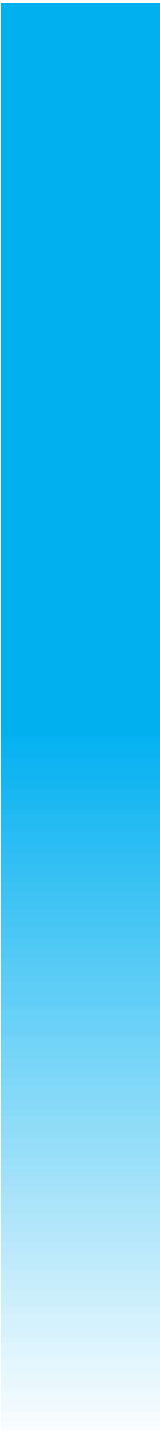
必須事項：

- ・ Microsoft .NET Framework 4 Fullインストール

その他：

- ・ クライアント/サーバ型として利用する場合はLAN環境が必要となります。
- ・ Excel出力を利用する場合はMicrosoft Excel 2007 以降が必要となります。
- ・ 利用環境によって接続ライセンスの追加が必要な場合があります。
- ・ 利用環境によってデータベースのクライアントソフトが必要な場合があります。





Linxgate



※製品の仕様及び価格は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。